

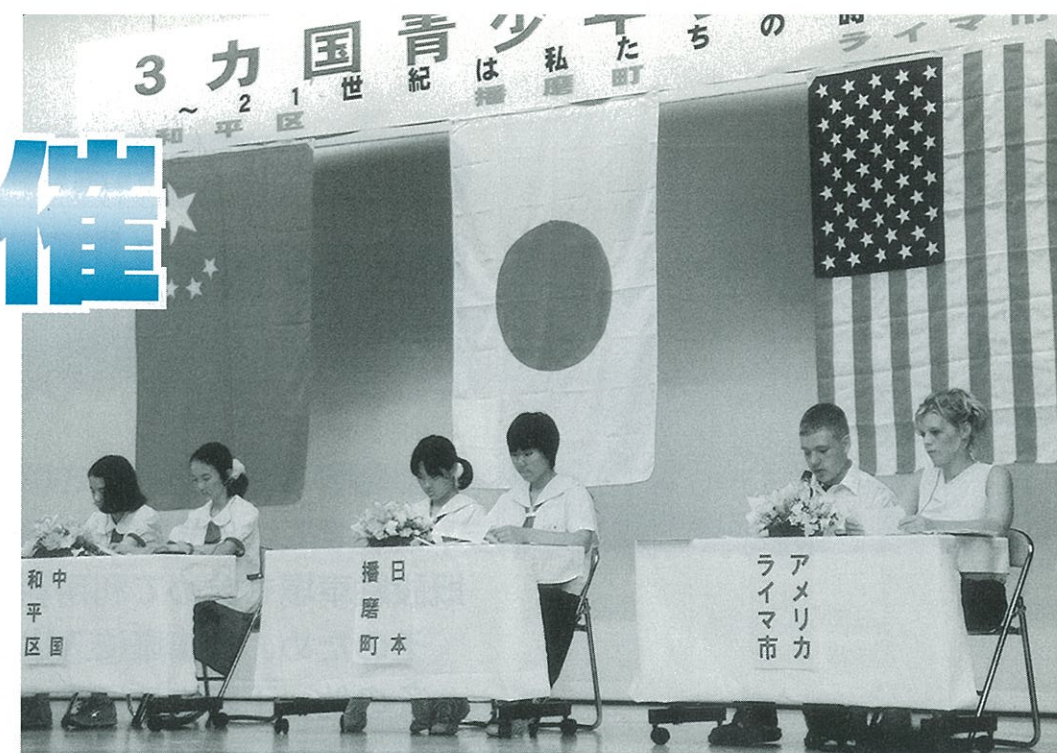
3カ国青少年サミット開催

～ 21世紀は私たちの時代～

7月27日（土）中央公民館において、友好・姉妹都市の天津市和平区と、オハイオ州の中学3年生が、「21世紀は私たちの時代」をメインテーマに、将来の夢や、住みよいのできることを話し合いました。

最後には自分たちの決意を「共同宣言」として高らかに読み上げ、サミットは幕をまた、青少年訪問団のメンバーは播磨町の家庭でホームステイを体験。日本の生活を

ライマ市の中学・高校生と播磨町地域や国、地球のために自分たち閉じました。楽しみました。



▲リ・シンユアンさんが踊りを披露

同日、十七時から中央公民館において、訪問団歓迎会が開催されました。播磨南高校管弦楽部の演奏で開会。参加者約百五十名との楽しい歓談のときを過ごしました。そして、各国の代表が歌や踊り、楽器の演奏を披露。

国際交流協会主催 訪問団歓迎会



▲ライマ市の方々による歌

露。最後には、南高校音楽部の太鼓演奏で盛り上がりました。歓迎会終了後は、ホストファミリーの方々と花火大会を見物し、播磨町の夏の一日を楽しみました。

ホストファミリー体験記

あっという間の5日間

去年ライマ市へ行き、良い思い出をたくさん作ることができました。だから、ヴィッキーにも良い思い出を作ってもらえたらと思っていました。

ヴィッキーと過ごした5日間はとても短く感じました。一番印象に残っていることは、三ノ宮に買物をしに行ったことです。辞書を忘れてしまって、言いたいことが伝わらなくて困ってしまったこともあったけど、楽しかったし、思い出になった1日でした。

あまり言葉は通じなかったけれど、とても貴重な体験をした5日間でした。次回もまた受け入れたいです。（山本）



淡路島牧場

ホームステイの醍醐味

彼が播磨町を出発した後、メモを発見。心のこもったメッセージがめんめんと綴られている。読み進むうちに胸が熱くなり、この粋な計らいに彼の人柄を再確認するとともに、これぞホームステイの醍醐味だと改めて実感。

言葉や文化の違いを越えての心のつながりは、何とも形容しがたいほど心地よいものでした。

何度かホストファミリーを引き受けましたが、その度、逆に私たちが彼らから受け取るものの大きさに驚きます。「国際交流の一助に」などと大げさに構えるのではなく、「人と人の触れ合い」を続けていけたらなあと思います。（赤松）

〈共同宣言〉
私たち播磨町、和平区、ライマ市の青少年は、21世紀がすばらしい時代になるように、力をあわせることをここに宣言します。

- 一、私たちは自分の夢や目標をしっかりと持ち、その実現に向かって最大限の努力をします。
- 一、私たちは一人一人が正しい判断のもと、小さな助け合いを続けることが住みよい世界をつくりあげることであると信じ、行動を起こします。
- 一、私たちは自分たちの住む自然環境の現状をしっかりと見とどけ、豊かなすばらしい自然の復活につながる行動を起こします。
- 一、私たちは一人一人が地域の一人として、自分の国の一人として、世界の一人として協力し合って行動し、住みよい地球にいきます。
- 一、私たちは今後も交流を続け、文化の違いを理解し結びつきを深め、住みよい平和な世界をつくっていきます。

第2テーマ

住みよいまち、住みよい国、住みよい地球のために、今、自分でできること

天津市にある津河の水を汚した原因は何か。クラスメートと調査した結果、洗染工場や計器工場の排水に大量の洗浄剤や有毒元素が含まれていることが分かりました。その後、政府が改造活動を開始し、美しい津河に戻りましたが、それを守るために私たちが活動しなければなりません。



▲ハン・ユエさん (和平区第21中学)

第1テーマ

将来の夢に向かって10代でやりとげたいこと

大量に木が伐採されることによって、人為的災害は広がり、中国の砂漠化は深刻です。私の夢は、花が咲き誇り、一面の緑の中に座っていられること。そのために、私たち一人ずつが木を植えて、森林を作りましょう。将来の緑化のために、自分から始めましょう。

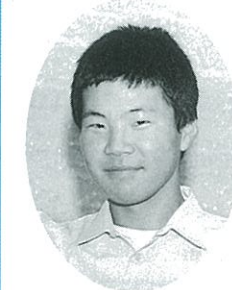


▲シュエ・チーさん (和平区第21中学)

河を汚さないために 私たちが活動を始めましょう

森林をつくりたい

みんなでまちづくりを進めたい



▲藤原 和也くん (播磨南中学校)

学校のクラブ活動、サッカー部で体は十分にきたえた。これからは、頭と心をきたえて自分を強くしたい。自分を強く持てるルールを守る人間になる。ルールを守る人間は、正しい行動がとれる。そのために、これからは大切に、そんな大人になりたい。

正しい行動がとれる 大人に



▲村井 里衣さん (播磨中学校)

播磨町をもっとよくなるために、土山駅周辺の整備と喜瀬川の美化を進めたい。川を汚さないためには、食べ物や汁などを台所から直接流さない、地区の清掃や喜瀬川清掃に参加するなどできることはたくさんある。みんなで住みよいまちを作っていきたい。

個人の力が世界をかえる

僕は、医者になって本当に必要な人に手を差し伸べたい。そのためには、膨大な量の教育と費用が必要で。だから、学校でよい成績を維持し、奨学金を受けたいと思っている。父の言葉「努力すれば願いは必ず叶う」を信じ、医者になるという夢に向かってがんばる。



▲ザック・ロスフェルドくん (エライダ高校)

努力すれば 願いは必ず叶う



▲ヴィッキー・スペンサーさん (アラン東高校)

私は、募金運動や献血運動をしました。このような自分たちの小さな地域での奉仕活動が国を助け、それが世界をより良くしていくと信じています。そして、様々な文化の違いを超えて、世界が深く理解し合える、結びつきが深まることを願っています。